

バルカシコート堰完成!!

PMSエンジニア

デイダールムシュタク

モハマド ファヒーム シェルザド

皆さま、こんにちは。今回は、バルカシコート堰・用水路事業について、次にPMSの取水設備の維持管理の仕事についてご報告を致します。

はじめに

アフガニスタンでは国民の大半が農村部に住んでいるため、農業は低い生活水準を引き上げるための重要な産業です。アフガニスタン人口の八〇%にとって、農業は大切な就労機会であり生活の糧なのです。

クナール河ではこれまでも多くのODAやNGOが灌漑事業を支援、実施してきました。しかし何百万ドルもの資金を投じた工事は完了後数ヶ月もすると取水口が干上がっていました。一方、ドクターサーブ中村が建設した取水口は今も堅牢で安定し



堰完成セレモニーの後、スイーツを頬張るディダール技師(中央左)とファヒーム技師(中央右。2022年2月28日)

ており、一年を通して十分な水量を供給しています。ドクターサーブ中村の取水口は全てのアフガン人技師にとって学びの場であり、私たちにとって大学のようなものなのです。

地域住民にもたらす恩恵

二〇二〇年十二月に開始したバルカシコート堰・用水路事業は、堰、取水門、コンクリート製土砂吐き、洪水吐き、用水路、貯水池、排水路そして農地を洪水から守る護岸の建設からなります。現在、工事は八〇%ほど完了、堰は完成しています。同プロ

ジェクトが重要な理由は、この地域には昔ながらの用水路があったものの渇水期になると十分な水が流れて来ず、農地の灌漑が困難になり農作物が育たなくなっていたことです。そのため村人たちの間では水争いが起きていました。

夏になると、今度は河川の水嵩みずかきが増して大量の水が用水路に流れ込んで農作物に被害を与えたり、河川の氾濫で農地が破壊されたりしていました。このような問題が続ぎ、住民は不満を募らせていました。私たちのプロジェクトが進むにつれて、このような問題が徐々に解決され、神様の御加護により、住民たちは農業に励み、家族を支えるのに十分な収穫を得ることが出来るようになっていきます。

バルカシコート堰工事が、地域の全住民にもたらす恩恵を次のようにまとめてみました。

- ・ 作業員として常時建設現場で働くことで収入を得られる。
- ・ 作業員として働くことで、自分の土地を洪水から守る技術を学ぶことが出来る。
- ・ また、将来地元にある材料で用水路を建設したり、壊れた際に修理したりする技術を習得できる。
- ・ 以前は、冬季に川の水位が下がって用水路に入る水が減少し、灌漑用水が不足していたため、一種類の農作物しか栽培出来なかった。今では一年を通して用水路

に十分な水が来るので、米、小麦、モロコシやジャガイモ、玉ねぎなど様々な野菜が栽培出来るようになり、他の町に出荷するまでになっている。

・ ヤナギ(二万二〇〇本)、シーシャム(二二〇〇本)、松(五〇本)、ユーカリ(一一五〇本)、ニセアカシア(五〇本)の植樹により地域が緑化、環境が改善される。

・ 洪水期の川の氾濫から土地が守られているため、土地の価格が上がる。

用水路の水が途切れて仕事を失っていた住民は、現在十分な水を得て自分の農地を耕すことができるようになっており、難民となっていた人たちも故郷に戻り、喜んで畑で働いています。また、この地に新たに移住する家族もいます。

バルカシコート村の人々は、今の生活にたいへん満足してPMSのお陰だといつも私たちに話しています。

維持・管理作業について

次に、これまでPMSが建設した堰や用水路の維持・管理作業について簡単に報告を致します。夏の洪水期に損壊した堰や護岸の補修工事が主な作業ですが、どの取水設備も常時観察を継続しています。

①マルワリード用水路では、昨年八月の洪水で用水路の護岸壁の崩落があり、石出し水制を五基備えた護岸工事を二月に終了しました。

- ② マルワリードII堰では、部分的な洗掘がみられたため、巨礫^{きよれき}で補修工事をしました。
- ③ ミラーン堰では、取水門への河道に大量の土砂が堆積したため、現在その除去作

業が続けられています。
報告は以上です。アフガニスタンの困難な時期に皆さまからの変わらぬご支援をいただき、心から感謝申し上げます。